

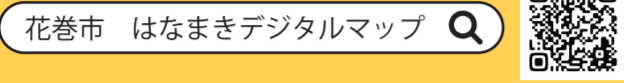
# 花巻市ハザードマップ

この地図は、想定最大規模降雨により河川が大雨によって増水し、堤防が決壊などにより氾濫した場合に浸水が想定される区域を表したものであり、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所や岩手県によって作成された想定図に基づき作成したものです。

また、大雨、地震、火山の噴火などがきっかけで、山や崖が崩れたり、崩れた土砂が雨水や川の水と混じって流れることによって発生する土砂災害についても、岩手県によって指定・作成された土砂災害警戒区域指定箇所にに基づき作成しています。

昭和22年9月洪水（カスリン台風）、昭和23年9月洪水（アイオン台風）では、花巻市は記録的な豪雨に見舞われ、堤防が決壊したり広範囲に浸水したりするなど甚大な被害を受けました。

災害はいつ起こるかわかりません。被害を未然に防ぐためにもぜひご利用ください。また、地図情報システム（GIS）を活用したデジタル版もありますので、併せてご利用ください。



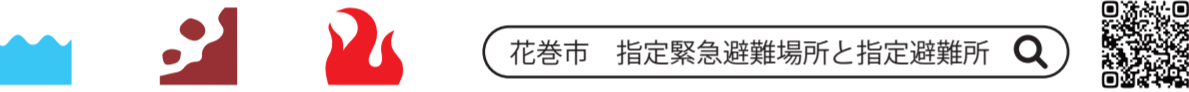
## 指定緊急避難場所等とは

市では、災害の危険から命を守るため、公共施設を中心に「指定緊急避難場所」と「指定避難所」を指定しています。災害はいつ起こるか分かりません。突然の災害に備えて、自分の地域の指定緊急避難場所や指定避難所を確認しておきましょう。指定緊急避難場所・指定避難所は、花巻市ホームページで公開しています。

- 指定緊急避難場所** 災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所
- 指定避難所** 災害が発生した場合に避難をしてきた被災者が一定期間生活するための施設

**必ずしも行政区ごとに定められた指定緊急避難場所等に避難する必要はありません。**状況に応じて、お近くの指定緊急避難場所等に避難してください。

緊急時の避難先として、市指定の指定緊急避難場所等のほかに**地域で定め一時避難所や親戚・知人宅等**が考えられます。「難」を「避」けることが最も大切なことで、安全の確保を第一に避難してください。



## 要配慮者利用施設とは

災害時に特に配慮（支援）が必要な人々が利用する社会福祉施設、医療施設、教育施設などを指します。洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域等に立地している要配慮者利用施設は、花巻市ホームページで公開しています。



## 土砂災害の前兆

土砂災害には、主なものとして「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地すべり」があります。土砂災害の前兆に気づいた際は、一刻も早い避難行動をお願いします。

### 急傾斜地の崩壊の前兆

- ・がけにひび割れができる
- ・小石がバラバラと落ちてくる
- ・がけから水が湧き出る
- ・湧き水が止まる・濁る
- ・地鳴りがする



### 土石流の前兆

- ・山鳴りがする
- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ・腐った土の匂いがする
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる
- ・立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる



### 地すべりの前兆

- ・地面がひび割れ・陥没
- ・がけや斜面から水が湧き出す
- ・井戸や沢の水が濁る
- ・地鳴り・山鳴りがする
- ・樹木が傾く
- ・亀裂や段差が発生



## 情報の入手

市では、市民の皆さんの防災対策に役立てていただくため、市LINE公式アカウントに友達登録されている方々へ気象情報のほか、避難所開設情報等を配信しています。

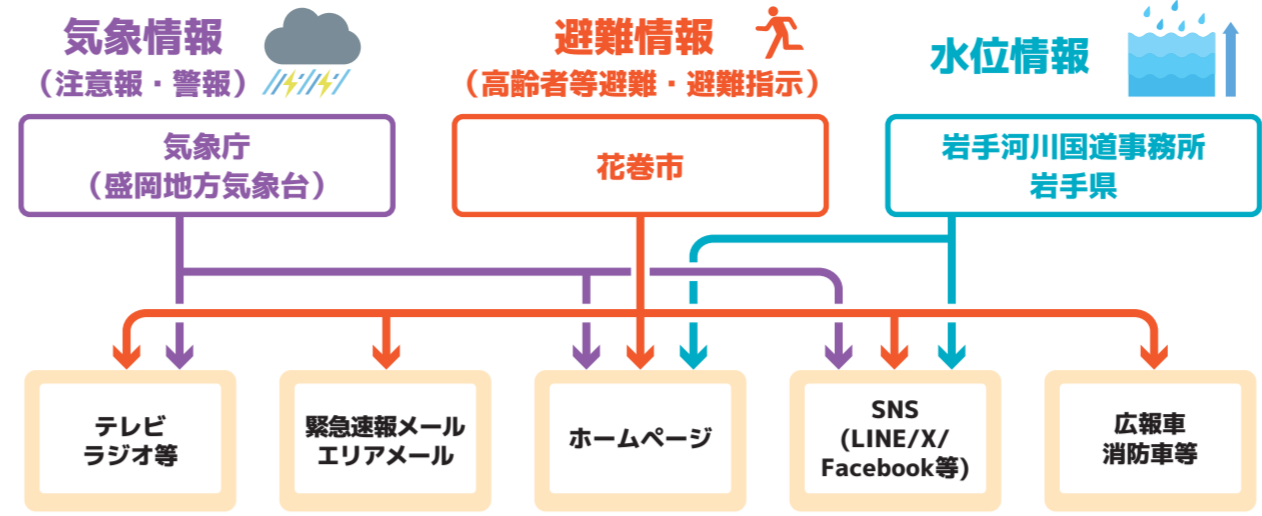


※登録料・情報料は無料ですが、通信料は別途がかかりますのでご注意ください。

### その他災害時に役立つ情報

<b>花巻市ホームページ・公式SNS</b> 防災気象情報、避難所開設情報、その他各種災害に関する情報を確認できます。 	<b>盛岡地方気象台ホームページ</b> 気象情報、防災気象情報のほか、キキクル（危険度分布）では、大雨による洪水・浸水害・土砂災害の危険度を色分けして掲載しています。 
--	---

## 情報の伝達



<b>国土交通省「川の防災情報」・岩手県河川情報システム</b> 水位情報のほか、雨量情報、ライブカメラ映像、ダム情報等に関する情報を確認できます。 	<b>岩手県土砂災害警戒情報システム</b> 土砂災害警戒情報、土砂災害危険度参考情報等に関する情報を確認できます。 
---	---

## 早期の立退き避難が必要な区域及び浸水ランク別の避難行動の説明（洪水）

区域	避難行動	注釈
<b>早期の立退き避難が必要な区域</b> 家屋倒壊等氾濫想定区域 河岸侵食	木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流が発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。  家屋が倒壊するような河岸侵食の発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。	頑丈な高層ビル等の場合は屋内安全確保でもよい。  ただし、氾濫が既に開始している場合など、指定緊急避難場所へ移動することにより、かえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所への避難が必要。さらに、外出することすら危険な場合には、屋内安全確保が必要。
<b>家屋が水没するおそれのある区域</b>	最上階も浸水するおそれがある場合は、早期の立退き避難が必要。	最上階が浸水しない場合は、屋内安全確保でもよい。
<b>その他の浸水想定区域</b>	床上浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保でも良い。	1階が浸水するおそれがある区域の1階建ての建物等においては、早期の立退き避難が必要。
<b>浸水想定区域外</b>		浸水想定区域内の住民等が避難して行くことも考えられるため、避難の手助けを行う。

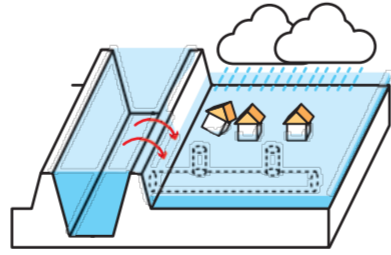
注1：要配慮者については、避難をより早期に判断する必要があること、屋内安全確保をするために要配慮者に応じた準備が必要であることに留意。  
 注2：浸水想定区域外の区域についても、避難者受け入れ区域として、周知することも考えられる。  
 注3：内水についてもこの表と同様の記載とする。

**！** 災害時における避難は、個人々がおかれた状態に応じて、自らの判断で臨機に避難行動をとることが原則なので、危険を感じたら、すぐに避難を開始しましょう。**！**

## 水害の種類

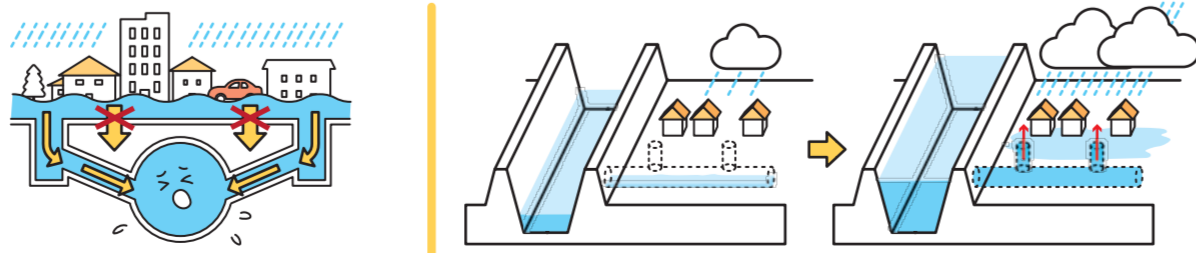
### 外水

外水氾濫（洪水）は、河川の水位が上がって、水が堤防を越えてきた場合、または、水位が上がったことによって河川の堤防が破綻した場合に発生します。



### 内水

内水氾濫は、大雨によって下水道等に雨水を排除できない場合、または、下水道等から河川等に雨水を排除できない場合に発生します。



下水道の排水能力を超える雨が降った場合に、下水道から水があふれたり、下水道に入りきれないで地上に溜まったままになったりします。

街などに降った雨は、下水道などを通して川に排水されます。

大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。

## 災害に対する心得

### 安全な避難経路の確認を



避難場所までの経路（避難経路）は、自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

### 家のまわりを点検・整備



梅雨や台風期の前には、家のまわりの排水溝が詰まっていないかの確認や、風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。

### 避難訓練に参加を



市や自治会等で実施される避難訓練に参加しましょう。訓練の際には、ハザードマップを活用しましょう。

### 避難の呼びかけに注意を



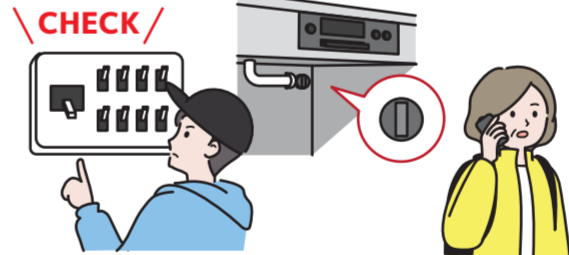
危険が迫ったときには、市役所や消防署・消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

### 正確な情報収集と早めの避難を



テレビ・ラジオ・インターネット等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。危険を感じたら早めの避難をしましょう。

### 避難する前に...



避難する前に電気・ガスなどの火元を確認しましょう。また、親戚・知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

### 高齢者などの避難に協力を



高齢者や子供、病気の人は、早めの避難が必要です。近所の高齢者や子供、病気の人などの避難に協力しましょう。

### 動きやすい格好、2人以上の避難を



避難するときは2人以上で隣近所への声かけをしましょう。持ち物はリュックで、手は自由に、長靴より運動靴で避難しましょう。

## マイ・タイムラインの作成について

マイ・タイムラインの例

マイ・タイムラインは、大雨や台風などの自然災害から自分や家族の身を守るための防災行動計画です。自分の普段の状況を踏まえあらかじめ「避難のタイミング」や「避難行動」を考え、目に見える形で、「マイ・タイムライン」にまとめてみましょう。自分や家族の身近な人と避難行動を共有しておくことで、「自分の命も身近な人の命も守る」ことに繋がります。

目安時間	3～5日前	2日前	～ 半日前	5時間前	3時間前	0時間前
警戒レベル	1	2	3	4	5	5
マイタイムライン	テレビ等で天気予報を確認 家族の予定の確認 家の周りを点検・整備 非常用持ち出し品の確認 不足品の買い出し	避難場所、避難経路の確認 避難の準備 大事なものを2階へ移動 携帯電話の充電	避難所開設情報や雨量を確認 避難開始（高齢者等） 親戚・知人への連絡 地域に声掛け	避難開始 携帯、ラジオ等で状況確認	避難開始 携帯、ラジオ等で状況確認	直ちに命を守る行動を 携帯、ラジオ等で状況確認 避難所へ全員避難

## 備蓄品

災害時に必要となる食料や生活用品などを準備しましょう。最低でも3日分、できれば1週間分が目安です。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

**食品**

- 水…1人1日3リットルが目安
- 非常食…ご飯（アルファ化米など）  
レトルト食品・チョコ・乾パンなど

蓄える→食べる→補充することを繰り返し常に一定量の食品を備蓄するローリングストックをやってみましょう。

**生活用品**

- トイレレットペーパー
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 携帯トイレ（トイレ用凝固剤を含む）
- マッチ・ライター
- ろうそく
- カセットコンロ（ガスボンベ）
- ポリ袋（ごみ袋）
- ラップ・アルミホイル類

**家族に合わせて必要なもの**

- 紙おむつ（乳幼児用・大人用）
- 生理用品
- 粉ミルク（液体ミルク）・ほ乳ビン

## 非常用持ち出し袋

避難に備えて、日ごろから非常用持ち出し品をまとめ、定期的に点検しておきましょう。

**枕元に置くもの**

- 懐中電灯・ヘッドライト
- メガネ
- 防犯ブザー・ホイッスル
- スリッパ（上履き）

**玄関に置くもの（非常用持ち出し袋の近くに置くもの）**

- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 運動靴（できれば紐なし）
- レインウェア
- 軍手（手袋）
- マスク

**非常用持ち出し袋に入れておくもの**

- 水・食品
- 衣類・下着
- 携帯ラジオ
- 予備電池・モバイルバッテリー
- マッチ・ろうそく
- 救急用品（常備薬含む）
- 使い捨てカイロ
- フランケット
- 洗面用具・タオル
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- ペン・ノート
- ティッシュ・ウェットティッシュ

**一緒に持ち出すもの**

- 貴重品…通帳・現金・パスポート・運転免許証  
病院の診察券・マイナンバーカードなど

こちらも参照ください→ 首相官邸 災害の「備え」チェックリスト

## 災害用伝言ダイヤル 171

NTTの災害用伝言ダイヤルは「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言を録音すると、後で家族が再生して安否を確認することができます。

**携帯電話各社も同様のサービスを行っています**

- docomo
- au
- Softbank
- 楽天mobile

岩手県立大学防災復興支援センター  
マイタイムラインフレット

国土交通省  
マイ・タイムライン

表面はこちら